

(For School teacher)

Form 5

平成22年 9月 16日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 熊本県立第二高等学校

2. 参加研究者: Dr. Dakrong Pissuwan

3. 実施日時: 平成22年 9月 16日 (木) 10:50~12:40

4. 参加生徒: 2年生 37人、 年生 人、 年生 人 (合計 37人)
備考: (理数科)

5. 講演題目:

Tiny Gold in Biological/ Biomedical Applications
「極小金の生態学、生態医学への応用」

6. 講演概要:

金をナノ粒子に分解し、その粒子を生態学や生態医学に応用していく研究についての講話であった。金は、毒性が極めて低く、人体や生物への影響があまりないことを利用し、体内に入り込んだウイルスに金ナノ粒子を付着させて、そのウイルスの細胞を破壊していくという過程についての説明がなされた。また、粒子の大きさが試薬の色が変化するため、粒子を想定したサイズにするために、その色で判断するということがあった。その実験も、生徒主体で実際に行った。

7. 使用言語: 英語 同行者(日本語による補足・通訳)

8. 講演形式:

(1) 講演時間 100分 質疑応答時間 10分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

同行者による通訳、補足説明など

協力者 職・氏名

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

講話の概要が記載されたプリントを1枚送付いただいていたので、その内容について簡単に説明しました。

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項: とくにありません。